| 科目ナンバリング | G-LAS14 80011 LJ90 | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 授業科目名<br><英訳> | 特許法特論・演習<br>Special Lecture and Practicum for the Patent Law I | | | 担当者所属<br>職名・氏名 | 非常勤講師 高山　周子<br>非常勤講師 東田　進弘 | | |
| 群 | 大学院横断教育科目群 | 分野(分類) | キャリア形成系 | | 使用言語 | 日本語 | |
| 旧群 | | 単位数 | 2単位 | 時間数 | 30時間 | 授業形態 | 講義（対面授業科目） |
| 開講年度・開講期 | 2024・<br>前期集中 | 曜時限 | 集中 | 配当学年 | 大学院生 | 対象学生 | 全学向 |

（医学研究科の学生は，全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。）

**[授業の概要・目的]**

I. コースの概要

本講義では、特許法の概略を学ぶと共に、化学・ライフサイエンスの分野における特許実務のポイントと特有の点を理解する。

基本事項の講義を中心に行う。

具体例に基づいた説明を中心に理解を深める。

II. 教育・学習方法

・パワーポイント資料を中心にした講義

**[到達目標]**

１．特許法の基礎を学ぶ。

２．一般的な特許実務に加え、化学・ライフサイエンス分野に特有の考え方を理解する。

３．１と２を通じて、特許庁審査官・審判官、弁理士、その他知財専門家と円滑な意思疎通を図るために必要なレベルの知識を習得する。

**[授業計画と内容]**

１．４月１０日　高山　特許実務総論（１）

特許制度の概略、化学・ライフサイエンス分野における特許出願戦略のあり方（事例紹介）

２．４月１７日　高山　特許実務総論（２）

発明の定義とカテゴリー

３．４月２４日　東田　特許権

特許権の効力、先使用権、消尽論、実施権等

４．５月８日　高山　発明の新規性

発明の新規性、産業上利用可能性

５．５月１５日　東田　先願

特許法３９条、２９条の２、上位概念・下位概念の考え方等

６．５月２２日　東田　特許侵害訴訟等（１）

特許侵害訴訟概要、無効の抗弁、損害額等

７．５月２９日　東田　特許侵害訴訟等（２）

特許法特論・演習(2)へ続く↓↓↓

クレーム解釈、均等論、間接侵害等

８．６月５日　東田　記載要件（１）
実施可能要件、サポート要件等

９．６月１２日　東田　記載要件（２）
明確性要件、明細書・実施例の記載等

１０．６月１９日　高山　発明の進歩性（１）
実務における発明の進歩性の考え方

１１．６月２６日　高山　発明の進歩性（２）
発明の効果の顕著性と異質性、数値限定発明や選択発明の考え方

１２．７月３日　東田　実務上重要な手続き（１）
審査手続き、手続補正と新規事項、分割・国内優先権主張出願、化学・ライフサイエンス分野に特有の実務上の重要事項等

１３．７月１０日　高山　実務上重要な手続き（２）
早期審査、情報提供、審判、特許異議申立て制度、特許の存続期間と延長登録制度

１４．７月１７日　高山　条約及び外国特許出願
パリ条約による保護、特許協力条約による保護、外国出願実務

１５．７月２４日　高山（問題作成：東田）　確認試験

**[履修要件]**

特になし

**[成績評価の方法・観点]**

平常点（出席を含む）、および効果確認試験(最終日)

**[教科書]**

テキストとして講義ごとにプリントを配布します。

**[参考書等]**

（参考書）
参考書は、特に指定はありません。下記は一例で、必要に応じて、御自身の読みやすいものを御使用下さい。

１．標準特許法　第７版（高林　龍著　有斐閣）
２．リーガルクエスト知的財産法　第２版（愛知　靖之ら著　有斐閣）
３．産業財産権標準テキスト特許編（発明協会）
４．知的財産権法文集（発明協会）

**[授業外学修（予習・復習）等]**

特許庁のHPから入手できる初心者向けのテキストなどをご参照ください。

特許法特論・演習(3)へ続く↓↓↓

特許法特論・演習(3)

[その他（オフィスアワー等）]